

平成24年6月市議会定例会から

6月13日から10日間の日程で開会された市議会定例会では、工藤市長の「一般行政報告」のほか6月補正予算の審議などが行われました。
※一般行政報告は、全文を一部要約して掲載しています。

一般行政報告

稚内駅周辺整備事業の完成

市では、平成14年から都市再生に取り組み、様々な皆さんからご意見をいただきながら、中心市街地活性化計画を策定して、「副港



JR稚内駅正面玄関前の「レールモニュメント」の除幕式

市場、「国内・国際フェリーターミナル」など、中心市街地のにぎわいづくりを進めてきました。
このたび、その集大成となる稚内駅周辺の整備事業が全て完了し、「マチ」と「みなと」が連続した魅力ある空間が誕生しました。
4月29日には、この事業の中心となる再開発ビル「キタカラ」がグラ

ンドオープンしました。
これら一連の事業の完成に向け、一丸となり取り組んでいただいた、国や北海道、JR北海道、稚内駅前地区市街地再開発組合など、関係者の皆様に、改めて感謝申し上げます。「キタカラ」は、市街地再開発組合が整備した5階建

ての複合ビルで、株まちづくり稚内が、その管理運営と、中心市街地活性化のための事業を展開していくことになっていきます。

すでに開業している映画館、コンビニエンスストアなどに加え、高齢者専用住宅や物産・飲食店、また市の公共スペースとしてキックルームや市民活動室、まちなか情報コーナーなどがある「地域交流センター」が新たにオープンするなど、情報・交流の拠点の機能を

持っています。
5月3日には、道内で14番目となる、日本最北の「道の駅」もオープンし、日本最北端の稚内駅、バスターミナルと一体となった、交通の結節点でもあります。

オープニングイベントに合わせ、中央地区商店街も集客イベントを実施したほか、旧瀬戸邸がオープンするなどの相乗効果もあり、

初日から5月6日までの8日間で、市民や観光客、延べ4万5千人もの皆さんに訪れていただきました。

また、4月28日には、「鹿児島枕崎市」と、友好都



市では、クールビズ期間中(10月末まで)軽装(ノーネクタイ)を実施しています。

市締結の調印式を行い、記念事業として29日、30日に枕崎と本市の「物産飲食フェア」を開催し、1万1千人余りの来場者でにぎわいました。

その後も、予想以上の集客実績を挙げていますが、「モノを創ったら終わり」ではありません。これからが正念場であり、本市としては、本年度、空き店舗の開業支援策など、新たな対策も講じました。

経済団体や事業者の皆様と力を合わせ、「街歩きが楽しい」まちづくりに、今後も継続的に取り組んでいきます。

稚内ブランドの認定

稚内には、優れた特産品が数多くありながら、これまで、その魅力を十分に情報発信できていないことが指摘されていました。これら原材料や加工品を認定し、

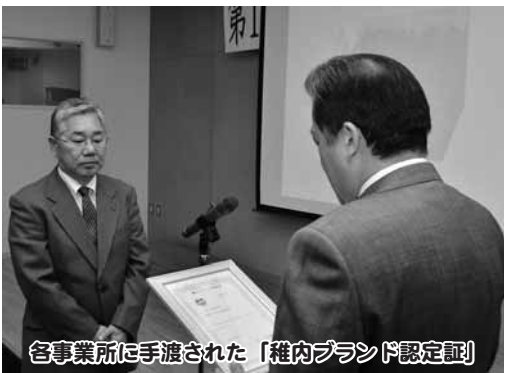
広く全国にPRする「稚内ブランド」の取り組みは、稚内という地域のイメージや魅力を高め、観光客誘致や地元経済の活性化を目指すものです。

商工会議所や観光協会など「稚内ブランド推進協議会」を立ち上げ、昨年来、本市にふさわしい制度について研究を重ねてきました。

認定品は、本市の事業者が生産や製造、販売まで深く関与しているもので、稚内ならではの稚内らしいものとして、広く消費者から認知されているものが対象です。

2月下旬から申請を受け付けたところ、19事業所から29点の応募がありました。

認定にあたり、栄養士やホテル、飲食店の関係者など食に精通する方々による「認定審査会」を設け、3月下旬、副港市場で審査会と市民試食会をそれぞれ開催



各事業所に手渡された「稚内ブランド認定証」

しました。

審査会の結果を受け、協議会では、原材料6点、加工品20点を初の「稚内ブランド」として認定し、4月25日に、認定証授与式を行いました。

既に、認定品には認定マークを表示して、ブランドの浸透に努めてもらっています。また現在、各種メディアへの積極的なPRやパンフレット、ホームページの作成に取り組んでいます。

今後は、認定された素材を活用した料理の開発や味わう機会の拡大など、市内宿泊施設、飲食店等と連携しながら、市民に愛される「稚内ブランド」の定着に取り組みます。

映画『北のカナリアたち』最北推進協議会の設立

5月25日、映画『北のカナリアたち』のロケ地となった利尻町、利尻富士町、礼文町、豊富町、そして各々の観光協会と、「映画『北のカナリアたち』最北推進協議会」を設立しました。
この協議会は、映画公開を、当地の魅力をアピールできる絶好のチャンスと捉える関係自治体が、手を携え、映画を活用しながら、地域の知名度アップと観光

客誘致に取り組もうとするものです。

この映画は、吉永小百合さんら出演者やスタッフが当地を訪れ、昨年12月にロケが開始されました。

本市と、利尻、礼文では、それぞれ支援組織を立ち上げ、映画制作をまちぐるみで応援してきました。

『北のカナリアたち』の全国公開は、今年11月3日に決まりました。

興行が成功し、スクリーンを見て「あのロケ地に行ってみたい」と感じた方が、一人でも多く当地を訪れてくれることを期待しています。

この機会を逃すことなく、この最北の地に人の流れをつくるため、観光振興も含めて、関係自治体と一緒に、地域を挙げて取り組みます。

稚内・利尻・礼文離島航路の強化・改善を考える協議会の設立

5月26日、利礼航路に係する1市4町の港湾管理者と、フェリー運航会社が発起人となり、「稚内・利尻・礼文離島航路の強化・改善を考える協議会」を設立しました。

この協議会は、わが国の領域保全と離島生活の安定のため、本航路の維持・改